

夏場にハウスで栽培された苗は、お盆過ぎから秋口にかけて品種ごとに定植。収穫は、11月上旬から3月下旬まで



「農業と環境保全の両立を実践しています」と  
畠中会長の藤村政士さん

目指したのは、琵琶湖の水を汚さない農業。支援を活用して、環境にやさしいブロッコリー栽培を、地域一丸となって拡大中。

JAグリーン近江大中の湖プロツコリー生産部会〔滋賀県近江八幡市〕

部会には13軒の農家が所属。作付け面積13ha中、9.4haで支援を受けた農家がいる。

そんな折、平成23年に環境保全型農業三直接支農対策がスタート。土壤素をとどめることで地球温暖化防止に役立つとともに、水質保全にもつながる取り組みとして、堆肥を使つたプロッコリー栽培を始めました。

農林水産省のコリー生産部のように、地域の環境のことを考えた農業を実践する農業者への支援を続けていきます。

A cartoon illustration of a person with brown, curly hair and a wide smile. A speech bubble originates from their mouth, containing Japanese text.

「琵琶湖の水質保全は大きな問題で、農業排水対策等その二つで、化学肥料や農薬が流れ込まない環境にやさしい野菜作りを進めているんです」と話すのは、J-Aグリーン近江の三上富男さん。琵琶湖の東岸に位置する滋賀県近江八幡市（あわじ）は、古くから水田栽培が盛んで、琵琶湖の内湖である近江八幡市は、主に拓いた農業地帯です。琵琶湖の水質汚濁による環境で、J-Aグリーン近江大中の生産部会は、早くから湖プロコア一生産部会は、早くから化学肥料および農薬の5割削減へ取り組んできました。

辺の草刈りなどにより農業家の削減にも力を入れています。こうした取り組みが琵琶湖の水質など環境保全につながっているのです。

「堆肥の購入代は、農家にとって負担になるので、支援を活用できるようになって助かるであります」と話す、豊根村の藤原政夫さん。

こうして栽培した「ロッコリー」は県の「環境こだわり農産物認証」も取得。食への意識が高い消費者から、人気を集めています。



滋賀県の「環境こだわり農産物認証」を取得  
ブランド化



「いばを栽培して、耕作放棄地が3ha解消

9月下旬～10月初旬が  
ソバの花の見ごろ



「直接支払を利用して、イシシ防護用の電気柵を、約12km設置しました」と説明する石坂徹泰さん

美しい「境の棚田」が広がる、岡山県美咲町境地区。近隣には、大坪西(おほつぼにし)や棚田(たけだ)もある地域です。高齢化率が40%を超えた地区で、耕作放棄地が拡大などが、問題になっていました。農事組合の地区代表理事を務める石坂泰さんによると、「水田がイノシシに荒らされた被害が多くてねえ。それに、棚田は畠(たけだ)で草刈りも大変で。米作りを続けるられない高齢者が増えているんだ」と、困り果てた顔つきでした。

栽培しやすいんですよ」と右坂さん。40歳から始まった「紅そば」は、今まで増加。秋になると、美しい花が咲く棚田を見に、大勢の人がやつて来るようになりました。さらに、平成15年にオープンした、棚田のそば屋「紅そば亭」も、年間約1万人が訪れる人気店に。一組一束が手作りの本物のそばで、観光客の交流の場にもなっていますよ」と、石坂さんはほほ笑みます。



ゴボウやニンジン、ネギ、鶏肉などの具が入った「境そば」800円。店の一番人気

体験をしながら、  
地元の人と  
都市部の人が交流

紅そば亭では、  
そば打ち体験  
もできる



中山間地域等直接支払  
を生かして!

風光明媚な「境の棚田」がある一方で、過疎や高齢化が年々深刻に……。そこで、制度を活用し、鳥獣害対策を進め、米の代わりに「紅そば」も育てたら、一躍、人気ス。ホットに!

農事組合法人境（岡山県久米郡美咲町境地区）



## 麦や大豆の作付けにチャレンジの巻



## 収入が減っても、安心して農業経営ができる、ホッの巻



### ①支払方法

支払いについては、数量払を基本とし、面積払（當農連續支払）をその内金として支払います。

#### 【交付対象数量】

麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたねの当年産の出荷・販売数量

#### 【交付単価（全国一律）】

全算式にて生産費をベースに算定した「標準的な生産量」と標準的な販売価格との差額分を、単位数量当たりの単価で直接交付します。また、麦・大豆などの作物については、地域間、農業者間の品質の格差が大きいため、品質に応じて単価の増減を行います。

#### 【交付対象面積】

麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたねの生産面積

平成26年産は、これまでより前年産の生産面積（前年産の生産数量を都道府県別の前年産の実績取扱割り出した生産量）に基づき支払います。平成27年産からは、当年度の作付け面積に基づき支払予定です。

#### 【交付単価】 20,000円／10a (そばは13,000円／10a)

### ②対象作物

## 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）とは

諸外国との生産条件の格差により不利がある作物（麦・大豆など）を生産する農家に対しての交付金です。引き続き、生産コストと販売価格の差に相当する額を直接交付します。

数量  
払

面積  
払（當農連續支払）

### ①交付対象者

販売目的の農作物を生産（耕作）する「販売農家」「集落営農」。  
※平成27年産からは、法整備を経て、認定農業者、集落営農、認定新規就農者を対象に実施する予定です（いずれも規模要件は課しません）。

### ②対象作物

麦（小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦）、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたね

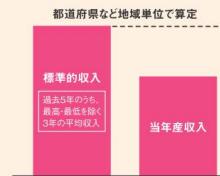


### ②交付対象品目

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ

### ③補てん額

当年度の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を、国からの交付金と農業者が積み立てた積立金で補てんします。  
国からの交付金は、農業者が積み立てた積立金の3倍が上限です。



## 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）とは

収入減少による農業経営への影響を緩和し、安定的な農業経営ができるよう、農業者提出に基づくセーフティネットとして引き続き実施します。

### ①交付対象者

認定農業者・集落営農のうち一定規模以上の者（都道府県4ha、北海道10ha、集落営農20ha以上など、市町村特認あり）

※平成27年産からは、法整備を経て、認定農業者、集落営農、認定新規就農者を対象に実施する予定です（いずれも規模要件は課しません）。

**意欲ある農業者が幅広く参加できるようになる予定です**

これまでの経営所得安定対策（旧：戸別所得補償）についても、高い開税により守られている米について、すべての販売農家に対し、一律に

について、工程を明らかにしたうえで廃止することにしました。

一方、米・畑作物の収入減少の影響緩和対策（ナラシ対策）は、法整備を経て、平成27年産から、接支払交付金（ゲタ対策）は、幅広く参加できるようになります。



**経営所得安定対策の見直しの要点を教えて！**



栽培面積は、19haから35haへと、拡大中



鉢粉でコーティングした畠の  
乾燥種子を直播

「飼料業者とのつながりで、  
販売ルートが確保できてよ  
かった」と福田裕さん

新潟県鹿沼市の亀和田・北赤塚農業組合では、飼料用米の栽培に特化した取り組みを行っています。組合設立当初は、飼料用のデントコーンを栽培していました。しかし、草丈が高いため見通しが悪く、生産の経路として、安全面や防犯面から問題があるということに。そこで、飼料用米に切り替えました。

販売単価は食用米に劣るものの、育苗などが不要で低コストな、鉄コーン型の湛水直播栽培を行い、栽培と同等レベルになっています。

「飼料業者とのつながりで、販売ルートが確保できてよかったです」と福田裕さん

## 水田活用の直接支払交付金 を生かして!

**農機具代や肥料代は、交付金でカバー  
やりがいもアツブ!**

亀和田北赤塚農業組合(新潟県鹿沼市)

米政策は**生産者や集荷業者・団体が、  
どのような米をいくら生産・販売するか、  
決められるようになります**

これまでには、行政ルートにより、実際の販売先を決めていました。

そこで、農業生産者は、今後全国

ベースの需給見通しの情報に加え、

生産者や集荷業者・団体が、需要

に応じてどのような米をいくら生

産・販売するか決められるようす

を整備。

生産者の自由度が拡大します。

具体的には、水田で麦、大豆、飼

料用米、米粉用米などの生産を

する農家に対して、交付金を直接支

付(水田活用の直接支払交付金)す

ることにより、地域の特色ある農産

物の産地づくりを支援し、水田のフ

ル活用を図ります。

國土が狭く、農地面積も限られて  
いる日本では、主食である米の安定  
供給、食料自給率・自給力の向上を  
目を向けるためには、水田を最大限に

有効活用することが重要です。  
そこで、まず需要に合った主食用  
米の生産を進めつつ、飼料用米や加  
工用米といった多様な米の生産振興

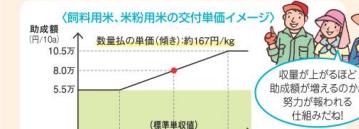
水田フル活用は**農業者へ、交付金を直接交付します**  
**どう見直されたのか教えて！**

## 水田活用の直接支払交付金

### 【支援内容】①戦略作物助成

対象作物 交付単位

|               |                            |                            |
|---------------|----------------------------|----------------------------|
| 麦、大豆、飼料作物     | 35,000円/10a                | 飼料用米と米粉用米への支援の仕組みが変わったんですね |
| WCS(經年酵母飼料)用稻 | 80,000円/10a                |                            |
| 加工用米          | 20,000円/10a                |                            |
| 飼料用米、米粉用米     | 収量に応じ、55,000円~105,000円/10a |                            |



- 収量払による助成については、農産物検査機関による数量確認を受けている条件です。
- ①は全国平均の平成23年単収(標準単収)に基づき算出であり、各地域への適用に当たっては、市町村などが該当地域に応じて定めている単収(分配単収)を適用します。

### ②二毛作助成

水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、または戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付けパターン(例) 交付金額(10a当たり)

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 主食用米+麦    | (米の直接支払)+1.5万円   |
| 麦+大豆      | 3.5万円+1.5万円      |
| 飼料用米+麦    | 5.5~10.5万円+1.5万円 |
| 米粉用米+飼料用米 | 5.5~10.5万円+1.5万円 |

### ③耕蓄連携助成

耕蓄連携の取り組み(飼料用米のわら利  
用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

### ④产地交付金

▶ 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づき、①水田における米、大豆などの生産性向上などの取り組み、②地域振興作物や備蓄米の生産の取り組みなどを支援します。

具体的には、小麦や大豆などを生産する農家に対して、交付金を直接交付することにより、地域の特色ある農産物の産地づくりを支援し、水田のフル活用を図ります。

▶ ④から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取り組み・単価など)を設定できます。

▶ また、地域の取り組みに応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物 取り組み内容 追加配分単価

|            |  |                                      |
|------------|--|--------------------------------------|
| 飼料用米       | 多収性專用品種への取り組み                          | 12,000円/10a                          |
| 米粉用米       | 複数年契約(3年間)の取り組み                        | 12,000円/10a                          |
| 加工用米       | 平成26年度政府備蓄米の<br>買入・在庫における落札            | 7,500円/10a                           |
| 備蓄米        | ※平成26年度に備蓄後半枠として配<br>分した万円についてお読みください。 |                                      |
| そば、<br>なたね | 作付けの取り組み                               | 20,000円/10a(基幹作)<br>15,000円/10a(二毛作) |

米政策は  
生産者や集荷業者・団体が、  
どのような米をいくら生産・販売するか、  
決められるようになります

